



# 見分森

第625号

2023年  
3月7日(火)

発行:学校法人協和学院 水沢第一高等学校 (文責:藤沢)

## 厳粛さと温かさあふれた卒業式

3月1日(水)、卒業式を行いました。今年度は会場を奥州市文化会館(2ホール)の大ホールで行ったため、保護者の方はもちろん、1・2年生も久しぶりに列席することができました。厳粛な中にも、随所にあふれる心の温かさを感じさせられる式でした。

担任の呼名にしっかりと返事をし、校長先生から卒業証書を授与された卒業生は、胸を張って席に。学業やスポーツ、文化活動に頑張り表彰された生徒は多数。みな晴れやかな表情をしていました。来賓祝辞では代表のPTA 会長岩本さんから心のこもった素敵なエールを送っていただきました。現生徒会執行委員長の扇柳七海さんは、別れの寂しさとともにコロナ禍にあっても最大限の活動を行ってきた先輩方の姿に様々な学ばせていただいたという感謝の気持ちを送辞で述べていました。前生徒会執行委員長であった石川大夢さんは自分たちの高校生活を保護者の方々に見て頂く機会が少なかったことを踏まえ、ピアノ伴奏をバックに三年間の思い出をスライドで流しながら送辞を。寄り添ってくれた家族への感謝の気持ち、3年間の何気ない日常がかけがえのない思い出となったこと、それを支えてこれからも頑張り、世界一の笑顔でまた会いましょう、とあふれる思いを心を込めて伝えてくれました。Mホール用スクリーンと昇降ロマットを送るという記念品贈呈の辞では、阿部彩花さんが様々な葛藤があった中で、少しでも変わりたいと思う気持ちがあるだけで、絶対に人は大きく成長できるということを学んだこと、家族や友達等支えてくれた方への感謝の思いを述べてくれました。保護者代表の高橋さんからの謝辞をいただき、閉式。ロビーや入り口には名残惜しくいつまでも多くの方が残っていました。



《校訓》「神清智明(しんせいちみょう)」 「松操竹節(しょうそうちくせつ)」 「衆心成城(しゅうしんしろをなす)」  
心は清く賢明で、確固たる信念を持ち、心を一につけば何事も成せる。 2023年度～「清明心」

『教育の精神』 教えることは教えられることだ 育てることは育てられることだ  
生徒と教師の間に この緊密な関係が成り立つとき はじめて「教育」というステージの 幕が開かれる  
子どもから学びながら 父母や地域に支えられながら はじめて「学校」という豊かなドラマが 進行する

『教育目標』 人間の尊厳を自覚しそれを貫く人間 いかなる困難にもうちかかって、自主的に生きる人間  
正しい知識と技術を身につけた人間に育てること

水沢第一高等学校の教育(共育)の考え方・土台は、この校訓と精神です。

## 交流深めた三送会

2月28日(火)、三年生を送る会を行いました。この2年間コロナ禍で交流する機会が少なかったこともあり、今回は皆で交流できる企画を例年より多く盛り込み、楽しくかつ名残惜しく三年生を送りました。



クラス卒業式



同窓会入会式



行事予定

3 月	
8	水 T1食事会
9	木 2年進路G
10	金
11	土
12	日
13	月 自宅学習期間 1・2年追認定試験
14	火
15	水
16	木 新年度打ち合わせ 職員会議
17	金
18	土
19	日
20	月 離任式 終業式
21	火 春分の日
22	水
23	木 Ⅲ期入試
24	金 新入生登校日
25	土 教員勤務日(午前)
26	日
27	月
28	火
29	水
30	木
31	金
4 月	
1	土
2	日
3	月 辞令交付
4	火
5	水 職員会議
6	木 始業式 入学式予行
7	金 入学式
8	土
9	日

水沢第一高等学校<問い合わせ・連絡先>  
☎0197-24-6171(事務室) ☎0197-24-6173(職員室)  
Eメール: kyouwa@mizuichi.ed.jp

## 陸前高田市で 被災地校外学習

2月22日(水)、1年生が被災地校外学習として、東日本大震災津波伝承館を見学し、語り部ツアーとして震災当時等のお話を聞き、慰霊碑に献花をしてきました。

近藤聖矢さんは「自分が住んでいる場所と陸前高田では、被害の規模が違うことをあらためて実感してきました。特に、震災前は街も盛んで自然豊かな場所だったのに、震災後にはいろいろな場所が崩れていたのを見て、とても悲しい気持ちになりました。語り部さんは、防災訓練を行うこと、命を大事にすることなど、今後の自分たちにできることを話してくれました。現在は、店や施設が復旧していて、震災前のような楽しい街になっていました。今後同じことが起こらないように、いろいろ学んだり注意したりしていきたいと思います。」と話してくれました。



## 奥州金ヶ崎就職ガイダンス

2月20日(月)、2年生の2・3組と調理科の生徒がプラザイン水沢を会場に開かれた「奥州・金ヶ崎しごと理解ガイダンス」を受講してきました。25社の企業の中からそれぞれ興味関心のあつる5社を選んで各ブースへ行き、企業の説明を受けたり、疑問点を質問したりしてきました。翌21日(火)は、就職希望の2年生が「キャリア形成支援期ガイダンス」を受講しました。

安倍絢さんは「しごと理解ガイダンスでは、5つの企業のブースを回りました。私は就職希望でしたが、就きたい職業ややりたいことなど具体的な目標がまだ定まっていなかったので、調理科ということにとらわれずに製造業や卸売・小売業などいろいろな企業の説明を聴きました。今回のガイダンスでは、「今の自分ができること」を基準に就職先を探すべきというそれまでの考え方ではなく、「できなくても大丈夫。失敗を失敗で終わらせずに次につなげることができるか」ということが大事だという考え方に変わり、とても勉強になりました。また、先輩方の話は、これから就職活動をする上でとても参考になる貴重なものでした。」と話してくれました。



## 各部等の活躍

☆バドミントン部 奥州市オープンバドミントン大会  
シングルス: 西館春吹ベスト8 菅原琉吾ベスト16 千葉結子 松木春陽決勝トーナメント進出  
ダブルス: 千葉結子・千葉紗香組第2位!  
岩淵紗英・齋藤花凜組 西館春吹・菅原琉吾組 安倍陸翔・坂内陸空 決勝トーナメント進出

進路達成おめでとうございます!

進学: 尚絅学院大学(人文社会学群人文社会学類)  
就職: ヒトタ食品株式会社(調理師)



## 手作りソーセージ教室

3月2日(木)、調理科2年生が(株)一関ミートの石川先生を講師にお招きし、手作りソーセージに挑戦しました。佐々木志真さんは「ミンチをこねる時、氷水を入れるのはミンチの温度を上げないため、茹で上げたものを冷水にとるのも菌の感染を防ぐため、と聞き「なるほどな」と納得しました。氷水はとても冷たく、毎日この作業をやっている方々はとてもすごいと思いました。また、慣れてくると30kgのミンチを30分で詰めてしまうと聞いた時は、職人技だ、と思いました。」と今回の教室で感じたことを話してくれました。



## 和食のテーブルマナー教室

2月24日(金)調理科1年生が和食のプラザイン水沢でテーブルマナーを学ぶことができました。今回の献立は「小鉢: 独活酢味噌和え 刺身: 鮪 海老 妻色々 焼物: 黒鮭味噌焼 はじかみ 油物: 帆立真丈錦紙巻 獅子唐 レモン 蓋物: 人参饅頭 信田巻 筍 隠元 蒟蒻 酢物: 雌株 胡瓜 卸生 姜 葱 食事: 御飯 味噌汁 香物 菓子: 花梅餅 抹茶蕨餅」。

三浦柑夏さんは「座り方や箸の持ち方などの基本的なことから食べる順番、懐紙の使い方などについて、丁寧にわかりやすく教えて頂きました。また、日本の食事の歴史についてのお話もあり、調理科の私たちにはとてもためになるものでした。食事をするのにこれほど頭を使ったことはこれまでありませんでしたが、将来に役立つとても良い経験になり、本当に良かったです。」と話してくれました。



**教育相談日** 毎週(木)が基本的に教育相談日となっており、スクールカウンセラーの高橋昇先生(臨床心理士)が教育相談室(保健室隣)にいらっしやいます。

相談対応は 原則8:45~16:45までの1時間、予約制です。相談のご希望がある場合には、担任または養護教諭(及川志保先生)にお話してください。相談日時を調整のうえ、ご連絡いたします。生徒の皆さんはもちろん、保護者の方のみの相談も受け付けております。お気軽にご連絡ください。(在室予定 3/9)